

採用企画「新プラネタリウムで地域との交流を深めよう！」(代表者 岡田 芳享)

企画概要

現在、天文同好会と繋がりのある夜久野町と柘野小学校に自作のプラネタリウムを出張し、子供たちが星と触れ合うきっかけを作りたい。

活動結果

6月4日(金) 第1回 柘野小観望会 (旧ドーム)

場所 柘野小学校

来場者数 約60名

柘野小学校に始めてプラネタリウムを持っていき上映しました。子供たちの反応もよくて、もっと大勢の人に見てもらいたいと言う気持ちになりました。

6月13日(日) 神戸大プラネ交流会に参加

神戸大のプラネタリウムを見に行き、今後、新しいドームを作るための参考にしました。新ドームは神戸大学のドームと愛知教育大学のドームをもとにして設計をしました。

7月31日(土) 第6回夜久野観望会に参加 (銀河鉄道999まつり)

場所 道の駅 農匠の郷やくの

来場者数 約80名

一回生のプラネ班の人にも積極的に参加してもらい、夜久野という場所を知ってもらいました。この時にサギタリウスチャレンジでプラネタリウムを夜久野にもって行きたいという話しを進めました。夜久野星空の会の方も、夜久野教育委員会の方も楽しみにしています。という返事をもらいました。

8月～9月 プラネタリウムドームを作る。

場所 京都産業大学総合体育館 会議室

8月、9月の夏休みを利用して新しいドームを作りました。土、日とお盆と夏合宿中以外はほとんど毎日、13時～18時半くらいまで作業しました。作業日数は全部で32日にもなりました。



9月19日(日) オープンキャンパスに参加(旧ドーム)

場所 京都産業大学 5404教室

来場者数 約30名

新ドームはまにあわずに旧ドームで上映しました。これも初めての試みでした。受験生にクラブ活動を見てもらう機会が作れてよかったと思います。

10月2日(土) サタデージャンボリーに参加

場所 京都産業大学 神山ミニホール前

来場者数 約100名

新ドーム初披露でした。柘野小観望会で見に来ていた子もいて、ドームが新しくなったことに気づいてくれました。



11月5～7日 神山祭

場所 京都産業大学 5303教室

来場者数 約300名

昨年より、約100名以上来場者が増えました。ドームが大きくなり、その分多くの人が入れるようになったのを実感しました。旧ドームでは難しかった車椅子の方も入ることができました。

11月26日 金 第2回 柘野小観望会

3回生は神山祭後に役員交代したので1、2回生が中心となって柘野小観望会をしてくれました。2回目ということでスムーズに事を進めることができました。柘野小補導員の方には夏休みにミシンを借りましたのでそのお礼ができたのではないかと思います。

11月27日(土) 第7回 夜久野観望会
場所 夜久野町農業者トレーニングセンター
来場者数 約80名

この夜久野観望会がサギタリウスチャレンジのメインでした。
夜久野の人々にプラネタリウムをみてもらうことができよかったです。
いままで天気に泣かされてきた夜久野観望会でしたが、この日はプラネタリウムもあり、
夜久野の人々に喜んでもらうことができました。



感想

理学部物理学科3年次 岡田 芳享

今回、サギタリウスチャレンジを通して、僕は数々の事を経験し学ぶことができた。大きな目標をもってそれにチャレンジしていく大切さ、責任者としてプラネ班をまとめていく難しさ、そして、実際に地域の人々にプラネタリウムを上映する事ができ、喜んでもらえたときの充実感。このサギタリウスチャレンジをしたことが、僕の大学生活での一番の思い出といっても過言ではないだろう。

新しくドームを作って柘野小学校、夜久野町に出張し、プラネタリウムを見てもらい星と触れ合うきっかけを作っていきたい。言葉では簡単に言えてしまうのだが、それを実際に実現するには、さまざまな苦勞を乗り越え、プラネ班の団結がなければできなかった事だった。まさにプロジェクトXの世界がそこにはあった。

一番、大変だったことは、やはりドーム作りである。これが完成しなければ僕らのチャレンジは失敗に終わってしまう。新しいドームの大きさは直径4メートル、高さ3メートルにもなる。設計を担当した僕は少しのミスも許されなかった。実際に作り始めてみると、予想以上に時間がかかり、想像以上に大変であった。大きな布に用意した筒型の型紙をあて線を引き切っていく。そして、切った布をミシンで縫うわけだが、そんな大きな布を縫ったことのある人もいないわけもなく、なにもかもが手探りで初めてのことだった。柘野小の補導員の方からミシンも借りる事ができ、柘野小観望会の時、新しいドームでプラネタリウムを見せることでお礼がしたい。そう思って作業することができた。そういったところでも地域との結びつきができたのではないかと思う。

作業日数は夏休みの8月、9月の、土日、お盆、クラブの合宿などを除いた、ほぼ毎日、全部で32日もなった。時間は13時から18時半くらいまでで、夏休みということで当然それぞれの用事もあり、バイトや帰省などで人も集まらないときもあった。僕の考えでは強制はしたくなかったので、あくまでプラネ班の自主性に任せた。でもやはり作業に参加する人とあまり参加しない人との差は大きく、それぞれのサギタリウスチャレンジに対するモチベーションの違いはあった。メンバー一人一人の事情があるのは仕方ないことなのだが、そういった差を見てしまうのは僕としても辛かった。作業によく参加してくれる人にはあまり参加していない人の事情を理解してもらいたかったし、あまり参加していない人には自分が作業しないことでどれだけ他の人に負担をかけていることが気づいて欲しかった。

それでもなんとか一日平均8人くらい集まってくれて、順調に作業は進んでいった。作業が夏休みまで終わるか微妙になってきたので思い切って合宿をして徹夜でドーム作りをしたこともあった。精神的にキツイ時期もあったけど、夜久野や柘野小にこのドームを持って行って子供たちにプラネタリウムを見せてあげたいという気持ちと、みんなのがんばっている姿が励みになった。そして、ついにドームは完成した。初めて中に入ると以前のドームより快適で広がった。完成して、ドームが膨らんだ時は本当にうれしかった。そして、その後このドームはサタデージャンボリー、神山祭、第2回柘野小観望会、第7回夜久野観望会とプラネを上映するために使われた。

サタデージャンボリーではたくさんの子供たちにプラネタリウム上映をすることができた。第一回柘野小観望会のときに来ていた子もいて、ドームが新しくなっていたことに気づいてくれた人もいた。ドームが膨らむのを見て驚いている子供たちや、プラネタリウムの星空を見て喜んで子供たちを見てうれしく感じた。以前のドームに比べて人も入るようになって多くの人に見せることができよかったです。そして、新しいドームになったからできたこともあった。それは神山祭の時に車椅子の方がきて、ドームの中に入ってプラネタリウムを見てもらえたことだ。少しでも多くの人に僕たちのプラネタリウムを見てもらいたい。そして、星空の魅力に気づいてもらいたい。その思いが叶った瞬間でもあった。神山祭で3回生は役員を引退して、その後は後輩たちが中心になって柘野小観望会と夜久野観望会を受け継いでくれた。僕も顔を出して後輩たちの活躍を見ることができた。そして、子供たちや地域の方の笑顔も見ることができた。

夜久野観望会の時に後輩に頼んでプラネタリウムを一回上映させてもらった。今まで天気に泣かされてきて僕たちは何も力になれずにもどかしい気持ちが募っていたけれど、今回は違った。天候は相変わらずよくなかったけれど、僕たちのプラネタリウムが子供たちや地域の人たちに星と触れ合うきっかけを作ったのは言うまでもなかった。

子供たちや地域の方からプラネタリウム楽しかったよという感想が聞けて本当によかった。そしてなんともいえない充実感と喜びを得ることができた。

今後も、地域の人にプラネタリウムをみてもらえたらよいと思う。これから先は、後輩たち次第だけど、彼らなら、きっとこのような活動を続けてくれると思う。

最後に僕たちのサギタリウスチャレンジを採用してもらった学生課、そして一緒になって協力してくれた天文同好会の仲間には本当に感謝している。

サギタリウスチャレンジで学んだことを経験したことを今後の生活に生かしていきたい。

理学部物理学科3年次 笠沼 憲樹

今まで部費等の関係で不可能とされてきた新ドームの作成。私が一回生の時から作り変えなければとは言われていたのだが、泣く泣く実現されていなかった。このドーム制作を今年行うことが出来て本当に良かったと思っています。

そしてこの夏休みに作業をしていったのだが、それは簡単なものではありませんでした。いろいろと問題や欠点もあり、このドームが完成するのか、うまく膨らむのか実際不安なことだらけでした。しかし見事綺麗に膨らみ、見事完成することが出来ました。今まで使っていたドームより大きくなり、一度にもっと多くの人に見てもらえるようになりました。神山祭では車椅子の人にも車椅子ごと中に入れてもらい見てもらうことが出来るくらい幅広く出来るようになりました。片付ける時もコンパクトになり柘野小学校や夜久野中学校にも持ち運ぶことが出来、子どもたちもとても喜んでくれました。これからこのドームを使って多くの人に星空の素晴らしさを教えていけることでしょう。サギタリウスチャレンジに応募して本当に良かったと思っています。

法律学部法律学科1年次 岩佐 里美

ドーム作り

夏休みのほとんどをドーム作りにそそぎ、正直疲れましたがその分完成した時の達成感も大きかったです。みんなで協力して一つのものを作りあげるだけでなく、その課程で先輩方・同回生とも今まで以上に仲良くなれたことがうれしかったです。よき思い出となりました。

柘野小観望会

残念ながら一回も参加することができませんでした m(_ _)m

夜久野観望会

夜久野は一回のみの参加ということで、あまり感想というものはありませんが、地域の人達との交流の場をもつことはよいことだと思います。部の活動を学外で行うことにより、天文のことや星のことを多くの人に知ってもらえることができるので、これからも続けていければいいなあと思います。

理学部物理科学科1年次 近藤 拓也

今年の夏休みは、ほとんどの時間を縫い物に費やしました。

始め、布だけでドームを作ると聞いたときは、ホントに骨組み無しでちゃんとしたプラネタリウムになるのか？などと思いましたが、毎日毎日作業をしているうちに、お前を絶対に膨らませてやる！と、布に愛着さえ湧いてきました。そのくらい長い時間をかけて、先輩の家に泊まり込みまでして作ったドームが完成して膨らんだときは、本当にうれしかったというか、感動しました。

完成したドームは、従来のよりも大きくて軽く、たためばコンパクトになるすぐれものに仕上がりました。オープンキャンパスやサタデージャンボリーで上映したほか、柘野小学校や夜久野町にも持って行って、地元のチビッコ達に曇り空の中でも満天の星空を見てもらうことができました。「うわぁ～きれい～」と言ってもらうと、やっぱり苦労した甲斐があったなぁと思います。

これからもいろいろなところで、この新プラネタリウムを使って星空解説を続けていきたいと思っています。少しでも多くの人に星空を楽しんでもらえるように。

理学部物理科学科1年次 西小路 絢子

ドーム作りは8月に留学もあり途中から参加したけど、ミシンをやったり手縫いで頑張ったりアイロンをつかったり、イロイロ手伝えたと思います。最初作る前はこんなに時間かかると思ってなかったのに、最後ギリギリまで作る事になってしまって、大変だったけど、ドームがきれいに膨らんだ時はうれしかったです。新ドームで山祭、柘野小観望会、夜久野観望会をやって、いろんな子供達や一般の人達に見てもらえて、どんな感想を持ったか分からないけど、私たちの作った星空を見てくれてちょっとでも星に興味持ってくれたらうれしいです。やっぱり旧ドームより自分達で作ったドームの方が愛着があるので、長く大事に使っていききたいと思っています。

文化学部国際文化学科1年次 柳田 千明

新ドームが出来上がって膨らんでいるのを見て、あれだけちゃんとしたものを作れたことに感動しました。小学校の子供たちが観望会するとき、喜んでくれた事が何より良かったです。これからも、こういう活動を大事にして続けていきたいです。

理学部物理科学科1年次 山田 佳奈

初めて天文同好会のプラネタリウムを見せてもらった時、こんな小さいプラネタリウムで本当に星が映るのかな、と、半信半疑でドームの中に入りました。しかし中に投影されていた星空は科学館のプラネタリウムの様に綺麗で本当にびっくりしました。でもそのドームを組み立てる会員は10人程が集まってやっと立てられるものでした。

私は先輩からドームを学外での活動のため、持ち運びやすいものにしたいという話を聞き、この小さいけれど綺麗なプラネタリウムを多くの人に見てもらいたいと思い、ドームを作る事を賛成しました。

学外の活動として、夜久野町観望会があります。夜久野町観望会は毎回天気に恵まれないために、集まってくれた子供たちに申し訳なく、その子供たちを喜ばすためにプラネタリウムドームを持って行こうという企画を立てました。

ドーム作りは本当に大変で、ドームのサンプルがあるわけでもなく自分たちで全て設計しなければなりません。送風でドームが本当に膨らむのかという不安もかかえながら、

夏休み返上で会員でドーム作りを進めていきました。時間が無く、徹夜をしてまでミシンに向かった事もありました。それでもだんだん形になっていくドームを見ると、絶対完成させるという気持ちになりました。ドームが完成し、膨らんだ時は本当に嬉しかったです。夜久野町観望会はやっぱり今回も雲がかかっていました。しかし、ドームを持って行き上映をすると、子供たちは喜んでくれました。上映が終了してもまだ見たいという声上がり、また見せて上げたいと思いました。今回持って行ったシナリオは1つだけでしたが、次回はシナリオの数も増やしたいと思いました。子供だけでなく大人の方も喜んでもらえるみたいなので、本当に充実感がありました。

サギチャレがなかったら予算が足りず、ドーム完成には至らず、学外での活動はできませんでした。ドーム作りは本当に大変でした。それでも私はやってよかったと思います。これからも観望会で私たちのプラネタリウムで星空解説ができればいいなと思います。